

2022年度 市大生チャレンジ事業 募集要領

1 目的

学生が自ら選定した課題や地域などから提案されたテーマにもとづき実施する社会貢献活動を支援することにより、学生の豊かな人間性を育み、さらに自主性や問題解決能力を養成することを目的として、プロジェクトを実施するグループに対し補助金を交付する。

2 募集概要

(1) 活動内容

地域や社会への貢献に資すると認められる次のいずれかに該当する活動

ア 「地域貢献特定プログラム(2022年4月1日から「地域志向特定プログラム」に名称変更予定)」(地域課題演習、地域実践演習等)の中で学んだことを発展させた活動

イ 広島市など自治体の行政課題に対応する活動、地域や市民団体等との協働による活動

例えば、まちおこし活動、平和に関する活動、高齢者福祉、健康増進、情報リテラシーの普及、文化・スポーツ活動 等

ウ 地域に在住するあるいは地域を訪問する外国人を支援する活動

例えば、外国人への生活支援、国際交流事業 等

エ 地域活性化や社会貢献につながる起業を目指す活動

オ その他、地域や社会への貢献に資すると認められる活動

(2) 活動期間

補助金交付決定の日から2023年3月31日まで

(3) 実施主体

本学の学部又は研究科に在籍する学生で組織するグループ(休学中の学生は応募できません)。アドバイザーとなる本学教員(1人以上)から、活動の計画、実施、報告に関する助言を受けて取り組むこと。

(4) 支援内容

予算の範囲内で、1件につき15万円(物品、交通費、施設使用料等)を上限とする。申請された経費について聞き取りを行い査定する。必要性を詳しく記入すること。

(5) 募集期間、審査等スケジュール

募集期間:2022年3月18日(金)~11月15日(火)

<審査結果通知及び補助金交付時期(予定)>

受付	審査結果通知	補助金交付
3/18~5/13	5月末	6月中旬
5/16以降奇数月15日締	当月末	翌月中旬

※予算の範囲内で受け付けるため、予算がなくなり次第、募集を締め切る。

(6) 採択件数の見込み

5件程度

(7) 申請手続

- ① アドバイザーとなる教員に事業内容及び所定の申請書の記載内容を確認してもらい、承諾を得る。
- ② アドバイザーの教員に申請書内の「アドバイザー承諾欄」の「申請内容確認済」にチェックを付けてもらう。
- ③ 大学から付与されたメールアドレスから、社会連携センターにメールで申請書を提出する。その際、アドバイザーの教員にも CC で送付すること。

(8) 留意事項

事業を実施する際は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組(3密(密閉、密集、密接)回避、マスク着用等)を徹底すること。また、会議やイベントについては、オンライン実施を検討するなど感染防止に留意・工夫すること。

3 学生への周知方法について

- (1) 大学ホームページ
- (2) 学内デジタルサイネージ
- (3) 教職員へのメール送信
- (4) いちぼるでのお知らせ配信
- (5) ポスターの学内掲示

4 事業発表会について

- ① 2月中旬に学外に公開する事業発表会を行うため、プロジェクトに参加した学生及びアドバイザーは参加すること。
- ② 事前に報告書類やプレゼン資料の作成を行い、プロジェクトが終了していない場合は中間発表を、春休みにプロジェクトを実施する場合は計画発表を行うこと。

5 その他

- ① 事業を完了したときは、事業完了日(支払い等がすべて終了した日)から1か月又は事業実施年度の3月末のいずれか早い日までに実施報告書・領収書類等の提出を完了すること。
- ② 報告書には大学の広報に使用可能な写真データを必ず1枚以上添付すること。
- ③ 成果を発表する際は「広島市立大学市大生チャレンジ事業 採択事業」を明記すること。
- ④ 採択された各プロジェクトの状況に応じて、実施時にマスコミに情報提供を行うことがある。
- ⑤ 優秀なプロジェクトについては、市役所での地域貢献事業発表会など学外での発表を依頼することがある。

6 問い合わせ先

社会連携センター

電話：082-830-1764 (内線 1119)

E-mail：office-shakai@m.hiroshima-cu.ac.jp